

兵解協だより

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、ご家族の皆様と良いお年をお迎えになられましたこととお喜び申し上げます。

さて、昨年は、政府・日銀の「デフレ脱却」政策にもかかわらず、GDPが2期連続でマイナスになるなど、景気減速が明らかになりました。政府は、後半になって、アベノミクス第2弾として「新3本の矢」を公表しましたが、その効果も疑問視され、「景気の好循環」は見通せず、経済の腰折れ懸念が高まる状況にあります。

このような状況の中、解体工事業者を取り巻く社会経済情勢は、さらに厳しいものがあり、特に、深刻な人手不足や資材高騰、あるいは解体工事費の極端な低価格化の進展等、様々な課題が山積しており、深刻度が増しているのが現状です。

このような中、兵庫県解体工事業協会は、今年結成15周年目を迎えることが出来ました。これは、協会員の皆様方の日々の努力の賜物と確信いたしております。心から感謝を申し上げます。

また、昨年9月には、兵庫県知事との「防災協定」を締結することが出来ました。これにより社会的責任を果たすと共に、協会の担う役割が地域社会から正しく理解され、正しい認識が得られるよう、協会員の皆様方と共に、社会貢献活動をさらに推進してまいりたいと考えております。協会員の皆様方の一層のご理解とご支援を期待いたしております。

さらに、今年の大きな目標として、「一般社団法人」の取得若しくは、「協同組合の設立」等の検討を進めてまいりたいと考えております。

これからの解体工事業の課題としては、解体工事業の団体・企業が全体としてのレベルアップをすることが必要で、このためには、「技術力」のさらなる向上と、「社会的貢献」を行うことにより、信用力を高めていく事が必要となります。協会員の皆様方と結束を固め、協力し合って、協会のさらなる発展のために共に努力をしてみたいと考えております。

最後になりましたが当協会にご理解とご支援を賜りましたことに対しまして厚く御礼申し上げます。また、協会員の皆様方をはじめ、関係各位の皆様方のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。



兵庫県解体工事業協会

会長 上原 満